

宿屋のかみさん、いっしょうけんめいに魔法の棒をもちあげようとする。——動かばこそ。……

宿屋の亭主 死、死ぬ。——死ぬ。……

宿屋のかみさん 待ってください。——ま、待ってください……

宿屋の亭主 だ、だめだ。——だめだ。……

宿屋のかみさん いけません。——いけません、いけません。……

ブウツ、そのさまを驚いたように、また、感心したように、ぼんやりキョトンとみて立つ。——宿屋のかみさん、そのまえにきて、いっしょうけんめいに今度はたのむ。

宿屋のかみさん おたすけください、どうか、おたすけください……

ブウツ おばさん、あなたはいいい人です。あなたの御亭主は悪い人だけれど、あなたは正直ないい人です。——だから、ぼく、魔法のあのテーブルかけさえ返してくれば助けてあげます。——

あなたに免じて助けてあげます。

宿屋のかみさん ほんとうですか？ ほんとうに助けてくださいますか？

ブウツ ぼく、うそはつきません。

宿屋の亭主 (苦しそうに) か、か、返す。——あげてくれ。——か、かくしにあるからあげてくれ。

宿屋のかみさん、それを聞くとすぐそばへ行って、かくしから魔法のテーブルかけを出す。——うやうやしく、それをブウツに持ってくる。

ブウツ (大きな声で) とまれ！ もういい、とまれ！……

魔法の棒、なんのこともなく宿屋の亭主をはなれてころがる。——宿屋の亭主、ぼんやり起きあがる。

宿屋の亭主 どうしたというんだ、おれは……？

宿屋のかみさん さあ、お礼を。——早くお礼をおっしゃい。お礼を……

宿屋の亭主 なんの……？

宿屋のかみさん 死ぬのを助けていただいた……